

一般教育訓練明示書

講座の名称	日本語教師養成講座 専修科1年コース													
実施方法	① 通学 (昼間 (夜間・土日)) ② 通信 スクーリング(回数 回)													
指定講座番号	0	1	0	1	3	—	2	1	2	0	0	2	—	7
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間				過去一年の講座実績	入講者数(累積) (1 人)				修了者数 (1 人)				
年月日	令和6年 9 月 30 日まで													
訓練期間	1年					総訓練時間				315時間				
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル					日本語教員									
②①に係る資格・試験等の実施機関名称					文化庁									
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等					特になし									
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況					日本語教師 国内外の日本語学校、大学、技能実習生の送り出し/受け入れ機関等の日本語教育機関で、活用されている。 最近では、オンライン日本語教師も増えている。									
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)					時間			使用教材名						
日本語教育事情					11.25			文化・社会・地域 日本語教師養成シリーズ(改訂新版)						
異文化コミュニケーション					11.25			日本語教師のための異文化理解とコミュニケーションスキル						
言語理解と言語習得					22.5			改訂版 日本語教師のための新しい言語習得概論						
日本語教授法					45			増補改訂版 新・はじめての日本語教育 1日本語教育の基礎知識/2日本語教授法入門						
評価法					11.25			みんなの日本語初級 I 本冊・手引き						
実習・演習					67.5			みんなの日本語初級 I 本冊・手引き						
								みんなの日本語初級 II 本冊・手引き						
								中級へ行こう 日本語の文型と表現59						
								中級を学ぼう日本語の文型と表現56 中級前期						
教材教具論・教材作成					22.5			みんなの日本語初級 I 本冊・手引き						
言語学概論					11.25			社会言語学のしくみ(シリーズ 日本語のしくみを探る)						
日本語の文法					45			考えて、解いて、学ぶ日本語教育の文法/ 初級を教える人のための日本語文法ハンドブック						
日本語の音声					45			日本語の音声入門						
対照言語学(日英、日中)					22.5			はじめての英語学/はじめての中国語						
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等					特になし									
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準					高校卒業あるいは同等以上の学力、日本語が母語でない場合は日本語能力試験N1合格あるいは同等以上の日本語力									
③その他														

一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度内の受講修了者数	1	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	1	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	1	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	1	人			

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	1	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A: 就業者計	0人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	1	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1人
	2 希望の職種・業界で就職できる	1	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	1	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	1人
	2 おおむね満足	1	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

受講者へは修了後にアンケートを実施し、「希望の職種・業界で就職できる」と評価を受けている。実際に希望の職種に就職している

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	各科目で設定している課題(試験・レポート・模擬授業)において60点以上の評価を得て、全26単位取得をすること。評価は、各科目の担当講師が行う。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

①各科目で80%以上の出席をすること②各科目で設定している課題(試験・レポート・模擬授業)において60点以上の評価を得て、全26単位取得をすること。③実習・演習の授業で外国人教育実習を行うこと。	3月または9月に修了認定をする。
---	------------------

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	授業の様子・試験結果・アンケートを基に、各講師がフォローアップを行う。 実習・演習では、模擬授業ごとに講師が教案の添削とフィードバックを行う。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	修了生の進路について揭示。 常時、受講生に声掛けをし、必要に応じて面談を行う。		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社インターナショナルアカデミー (代表者名: 対木正文)		
住所及び連絡先	060-0061 北海道札幌市中央区南1条西4丁目13番地		TEL 011-281-5188
施設名称及び施設長名	インターナショナルアカデミー (施設長: 対木正文)		
住所及び連絡先	060-0061 北海道札幌市中央区南1条西4丁目13番地		TEL 011-281-5188
給付制度担当部署・者	日本語教師養成講座 (担当者: 大口)		
連絡先	TEL 011-281-5188		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 557,111 円		
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	55,000	円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	502,111	円
① 一括払		40,111	円
② 分割払			
③ 両方可能			
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		11,000円
	① 副読本代 (税込額)		円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		円
	③ 施設維持費 (税込額)	11,000	円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		円
	3. 総額 (1+2) (税込額)	568,111	円

[特 記 事 項]